

2018年5月24日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラの基準価額下落について

(5月24日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年5月24日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額 (円) (2018年5月24日)	前営業日比 (円) (2018年5月23日比)	変動率
アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ	3,661	-236	-6.06%

2. 基準価額の変動要因等について

「アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ」の基準価額下落の主な要因は、トルコリラの下落によるものです。米国の利上げ観測などを背景に新興国通貨市場では全般的に資本流出の動きがあるなか、トルコでは経常赤字の拡大基調や政治リスクが警戒されていました。5月22日には大手格付け会社が、エルドアン大統領による権限統制からトルコ中央銀行の独立性が損なわれ同国国債の信用力がさらに低下することへの懸念を表明したことを受け、トルコリラは一段と下落しました。

一方、不動産投資信託（リート）市場への影響は限定的でした。5月21日から5月23日にかけて、リート市場は、シンガポールで小幅に下落したものの、香港やオーストラリアでは上昇しました。米国の10年国債利回りが3%を上回って推移するなど、世界的に金利上昇傾向が続いていますが、アジア・オセアニアリート市場への織り込みは進んでおり、同市場は底堅い動きが続いています。

3. 今後の見通し

トルコ中央銀行は足元のトルコリラ急落を受けて、5月23日の緊急会合で政策金利の引き上げを決定しました。しかし、物価高や経常収支悪化など今後のトルコ経済に対する不透明感から、トルコリラにつきましては引き続き変動性の高い状況が続くと見込まれます。

アジア・オセアニアリート市場につきましては、安定的な不動産収入を源泉として、中長期的な投資魅力度は高まっています。FRB（米連邦準備制度理事会）は利上げを継続する方向ですが、適切な金融政策のもとで世界経済の拡大継続が見込まれることは、アジア・オセアニアの不動産市場にも好影響を与えると考えています。短期的な相場の変動にとらわれず、引き続き個々のリートの成長性や経営の質を重視した運用を行ってまいります。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。